

社会福祉

平成 2 8 年度
後期 5 問

問 1

次の文は、社会福祉の発展過程に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A.社会福祉の発展過程の中で、生活困窮者への援助等を行った宗教的な慈善が大きな役割を果たした。
- B.今日、宗教法人は社会福祉法人と同じように、第一種社会福祉事業の経営を行うことができる。
- C.社会福祉の発展過程の中で、資本主義という経済的な要因は社会福祉の形成に大きな役割を果たした。
- D.今日、株式会社等の営利法人は社会福祉法人と同じように、第一種社会福祉事業の経営を行うことができる。

(組み合わせ)	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	○
3	○	×	○	×
4	×	○	○	○
5	×	×	×	○

回答

3

解説

○

A→適切な記述である。

記述通り、生活困窮者への援助等を行った宗教的慈善は、後の社会福祉の発展に繋がった。

×

B→不適切な記述である

第一種社会福祉事業は、社会福祉法第60条の規定で、国、地方公共団体、社会福祉法人のみが行うことを原則としている。例外的に認められるのは、社会福祉法人に準じる体制であると認められる、都道府県知事の許可のある団体のみである。（社会福祉法第62条第2項、4項）

○

C→適切な記述である。

記述通り、資本主義という経済的要因が、社会福祉の形成に大きな要因を果たした。

×

D→不適切な記述である。

Bで述べたように、第一種社会福祉事業は、国、地方、公共団体、社会福祉法人のみ行うことが出来るため、株式会社等の営利法人は行うことができない。

問 2 次の文は、ノーマライゼーションに関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A.施設入所者が、施設の日課や規則によって自由を奪われ生活を楽しめないような状態は、ノーマライゼーションの理念に反している。
- B.入所施設において季節ごとの行事を実施することは、ノーマライゼーションの理念を実現することに結び付かない。
- C.福祉サービスの利用者が平均的経済水準を保障されることは、ノーマライゼーションの理念の実現に直接結び付く。
- D.施設入所者が地域の人々との交流を持ちにくい生活をおくる状態は、ノーマライゼーションの理念に反している。

(組み合わせ)	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	×	○	○
3	○	×	○	×
4	×	○	×	○
5	×	×	×	○

ノーマライゼーション

障害者や高齢者がほかの人々と等しく生きる社会・福祉環境の整備，実現を目指す考え方である。

○

A→適切な記述である。

入所者が自由を奪われるような状態はノーマライゼーションの理念に反している。

×

B→不適切な記述である。

入所施設において、ほかの人々と同様に、季節ごとの行事を実施して季節を感じ、楽しむことはノーマライゼーションの理念を実現することに結びつく。

○

C→適切な記述である。入所者が、平均的経済水準を保証されることは、ノーマライゼーションの理念を実現することに結びつく。誰もが、基本的な公的財政援助を受けることが出来、そのための責任を果たす。

○

D→適切な記述である。入所者が、地域の人々と交流を持ちにくい閉鎖された状態は、ノーマライゼーションの理念に反している。

問3

次の文は、わが国の社会福祉の基本的な考え方に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A.社会福祉は制度として誕生したものであり、自発的な行為の中には存在しなかった。
- B.福祉サービス利用者の自立生活の支援は、福祉サービスの基本的理念とされている。
- C.人間の幸福追求について、国が立法や福祉政策によって関与することはない。
- D.国は、生存権を保障するため、最低限度の生活に関する基準を示している。

(組み合わせ)	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	×	○	○
3	○	×	○	×
4	×	○	×	○
5	×	×	×	○

回答

4

解説

×

A→**不適切な記述**である

社会福祉は、慈善事業等の自発的な行為から誕生した。その後、制度化されていった。

○

B→**適切な記述**である

社会福祉法 第3条 福祉サービスは、個人の尊厳の保持を旨とし、その内容は、福祉サービスの利用者が心身ともに健やかに育成され、又はその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるように支援するものとして、良質かつ適切なものでなければならない。とある。

×

C→**不適切な記述**である。

日本国憲法 第13条 すべて国民は、個人として尊重される。生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利については、公共の福祉に反しない限り、立法その他の国政の上で、最大の尊重を必要とする。

このようにあり、個人の尊重（尊厳）、幸福追求権及び公共の福祉について規定されている。

○

D→**適切な記述**である。

日本国憲法 第25条 すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。とある。

問 4 次の文は、社会福祉における「自己決定」に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A.福祉サービスを利用している依存的な状態の人であっても、自己決定権は確保されるべきである。
- B.自己決定の原則は、利用者自らの選択と決定を行う権利の概念であると同時に、利用者の成長を助けるものでもある。
- C.援助関係における自己決定の原則を貫くために、たとえ利用者が決定するために必要な情報が提供されていない場合でも、利用者に自己決定を促さなければならない。
- D.個人の自己決定の原則はどのような場合でも優先されなければならない。

(組み合わせ)	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	×
3	○	×	×	○
4	×	○	○	○
5	×	×	○	○

○

A→適切な記述である。

福祉サービスを利用している依存的な状態の人であっても、自己決定権は確保されるべきである。

○

B→適切な記述である。

自己決定の原則は、利用者自らの選択と決定を行う権利の概念であることはもちろんだが、自己決定を行うことによって、福祉サービスを利用している利用者の成長を助けることになる。

×

C→不適切な記述である。

記述のように利用者が決定するために必要な情報が提供されていない場合、情報の非対称性が生じる。このような場合、利用者は適切な自己決定は困難であり、これを促すことは適切とは言えない。

×

D→不適切な記述である。

利用者本人が自己決定するに必要な情報が提供されていなかったり、利用者本人の権利が保障されていない状況では、自己決定の原則を優先させることは適切とは言えない。

問 5

次の文は、「子どもの貧困対策の推進に関する法律」第 1 条（目的）の一部である。（ A ）～（ C ）にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

この法律は、子どもの将来がその生まれ育った環境によって左右されることのないよう、 貧困の状況にある子どもが健やかに育成される環境を整備するとともに、（ A ）を図るため、子どもの貧困対策に関し、 基本理念を定め、（ B ）等の責務を明らかにし、及び子どもの貧困対策の基本となる事項を定めることにより、 子どもの貧困対策を（ C ）することを目的とする。

（組み合わせ）	A	B	C
1	生活水準の向上	地方自治体	計画的に推進
2	公教育の推進	市区町村	個別的に実行
3	最低生活の確保	保護者	具体的に推進
4	学校教育の向上	学校	創造的に実施
5	教育の機会均等	国	総合的に推進

「子どもの貧困対策の推進に関する法律」第1条（目的）には次のようにある。

第1条 この法律は、子どもの将来がその生まれ育った環境によって左右されることのないよう、貧困の状況にある子どもが健やかに育成される環境を整備するとともに、**教育の機会均等**を図るため、子どもの貧困対策に関し、基本理念を定め、**国**等の責務を明らかにし、及び子どもの貧困対策を**総合的に推進**することを目的とする。